

反核医師のつどい2013 in北海道

核廃絶・憲法・被曝 多彩な講演

「平和憲法なまら(す)さ、みんなであらば、さ(い)い(い)ん(で)ない(か)い(い)核兵器と原発ダメだべ



講演を聞く参加者
11月9日、札幌市

「反核医師のつどい2013 in北海道」が9月21〜22日、札幌市内で開かれた。主催は同実行委員会。元スイス大使の村田光平氏が「世界に学ぶ脱原発―地球の未来のために」と題して記念講演。「日本が世界に脱原発のメッセージを発信するべき」と訴えた。核兵器廃絶をテーマにした教育講演と被曝問題と憲法問題の2分科会が開かれた。「国防軍」創設と集団的自衛権の行使

核兵器の非人道性許さず



中村新太郎理事

北の被爆者からのメッセージとして北海道被爆者協会会長・越智晴子さんが被爆体験を語られた。普通に生活している一般の市民が広島原爆に

改憲は平和共存壊す危険

玉川明弘評議員

分科会で「日米安保と憲法問題」をテーマに元広島市立大学広島平和研究所長・浅井基文氏の講演を聴いた。集団的自衛権とは日本が、同盟国で

私の母は、大阪大空襲の被災者であり、まるで母親がそこに居て語り聞かせている様で共感共鳴した。この春、安倍政権は核の非人道性共同声明に「日本の安全保障政策と一致しない」と賛同を拒否している。被爆国の政府だろうか。これからは原爆の実相を学び、核兵器使用の正当性を許さない医療人であり続けたい。

担する正当性はない。憲法は日本の侵略戦争を反省し、無条件降伏とともにボツダム宣言を受諾した経過の上に成り立っている。改憲は、他国と平和共存の関係を壊す危険なしにできるものではないと、憲法の重みを改めて感じた。

歯科・医科・協同組合 第16回大阪保険医ゴルフコンペのご案内

日時 11月23日(土・祝) 午前8時現地集合
場所 秋津原ゴルフクラブ(奈良県御所市朝町1075)
費用 2万3千円(プレーフィー、コンペ参加費含む)
対象 会員・家族・スタッフ
定員 10組40人 ※申し込みは協同組合(湯浅)Tel.06-6568-2741まで



共済セミナー 金融商品としての保険

日時 10月19日(土) 午後3時〜4時30分
会場 保険医会館 会費 無料 定員 30人
講師 豊田光弘氏(ソニー生命)・山本孝也氏(株式会社アイシード)

口は命の入り口、心の出口 クイズで語るおもしろ食育最前線

日時 10月20日(日) 午後1時30分〜3時30分
会場 M&Dホール
講師 岡崎好秀氏(モンゴル健康科学大学客員教授)
会費 無料 定員 100人

堺・高石・和泉地区 歯周治療がベースでインプラント周囲炎は治る

日時 10月24日(木) 午後8時〜10時
会場 堺市民会館(南海高野線「堺東」駅10分)
講師 中島康氏(高石市開業)
定員 50人 会費 会員無料、未入会者1万円

歯周治療3回シリーズ講座

日時 ①10月26日②11月30日③2014年1月25日
の各土曜日 午後6時から8時30分
会場 保険医会館 定員 50人
講師 高津兆雄氏(旭区開業、大阪歯科大学歯周病学講座前准教授)
会費 会員無料、未入会者各1万円

①臨床所見から基本治療まで②基本治療後の歯周外科治療など③指導管理とメインテナンスなど

米どころ近江の酒蔵見学と近江牛・松茸を堪能するバスツアー

日程 11月10日(日)
出発 難波・午前8時 梅田・午前8時30分
到着 難波・午後6時30分 梅田・午後6時
行き先 甲賀、信楽
参加費 大人1万円 子ども(小学生以上)6千円
主催 大阪市北部・東部・南部各地区
*最低催行人数30人

11月度生涯研修 子どもたちをう蝕・不正咬合から守る

日時 11月17日(日) 午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 須貝昭弘氏(神奈川県川崎市開業)
会費 会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承下さい。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

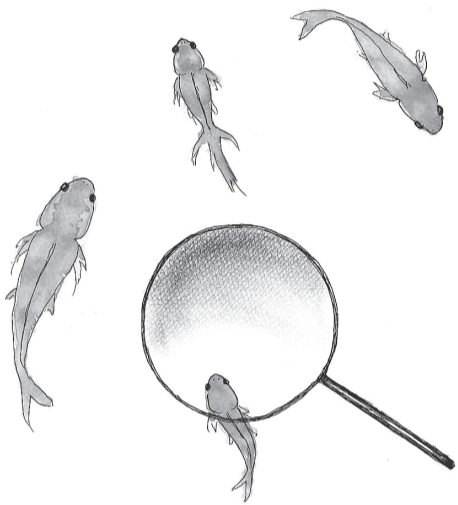
講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。



リレーエッセイ 288

娘の成長と金魚すくい

廣岡誠之 (西淀川区)



絵 藤田 進 (河内長野市)

近頃、夏祭りの季節を心待ちにしている。5歳になるわが娘もこの時期を楽しみにしている。娘にとって外せないのが露店の「金魚すくい」だ。娘は昨年の夏に初めて

金魚すくいにチャレンジした。しかし、やり方を教えようと思ってもな、ポイはすでに水中で破れていた。

「まあ、加減わからんすくいがあれば、何度か

挑戦したが、なかなか難しいらしく、全くすくうことができなかった。また、来年頑張ろう。もうちょっとおねえちゃんになったらできるわ。やはり、まだ早すぎて無理だったか...

そして季節は変わり、秋の終わりの11月、滋賀県は石山寺へ紅葉見物に出かけた。付近を下ライブしている、「南郷水産センター」の看板が目につ

「やったやん。すくいやん。初めてすくえたなあ」。小さめの金魚だが、娘にとっては至上の一匹となった。南郷水産センターのみなさん、ありがとうございました。そんな娘も今年の夏祭りではコツをつかんだのか2匹、3匹と次々に記録を伸ばしていき、それなりに楽しめるようになっていた。わずか一年で大した成長ぶりだ。来年は父と競争しようか。

廣岡先生ありがとうございました。次回は東大阪市開業の足立富彦先生です。